

# 平成23年度ホタテガイ採苗通報（第5報）

平成23年6月17日



宮城県水産技術総合センター気仙沼水産試験場 TEL:0226-23-6880  
 宮城県気仙沼地方振興事務所水産漁港部 TEL:0226-22-6852  
 宮城県漁業協同組合気仙沼総合支所  
 県漁協唐桑支所・気仙沼地区支所

稚貝の付着が継続しています。

《調査結果の概要》調査日：6月16日  
 ○唐桑町広田湾側と岩井崎の付着稚貝数が先週より減少しましたが、浮遊幼生数は減少していないことから、今後も付着が続くと考えられます。

表 浮遊幼生および付着稚貝調査結果

調査地点 (調査月日)	水温 ℃ 表層/10m層	浮遊幼生数 個体/m <sup>3</sup>		付着稚貝数 個体/袋 (投入日-回収日)	ムサシガイ 幼生数 個体/m <sup>3</sup>
		250ミクロン以下 (小型～中型)	250ミクロン以上 (大型)		
北部地区					
唐桑町只越(岸側) 6/16	14.6/12.4	14	39	123 (6/9-6/16)	59
唐桑町石浜(沖側) 6/16	15.3/12.3	9	19	-	27
岩井崎(湾口部) 6/16	15.1/14.1	18	13	64 (6/9-6/16)	2
岩井崎(沖側) 6/16	15.4/14.0	2	5	-	1

## 県外情報

青森県（6月16日発行）；全湾付着調査の結果、付着数は西湾で1,656個/袋、東湾は14,616個/袋と過去10年の平均値よりかなり少なく、平均殻長も0.62mmと小さいことから、稚貝採取時期は例年より遅れる見込み。

岩手県（6月10日発行）；ラーバは県中部以北で200μm以上の大型個体が多数出現、付着稚貝数は野田沖10,805個/袋(30日間)、宮古826個/袋(15日間)、唐丹湾754個/袋(14日間)と県中南部以北で増加、付着が進行中。

○ ホタテガイ採苗通報はホームページ  
 ( <http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/kesuishi/> ) でご覧になれます。

○ 次回の通報発行は6月24日（金）の予定です。